

全国月間火山概況（平成 24 年 1 月）

霧島山（新燃岳）では、今期間、噴火は発生しませんでした。新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへのマグマの供給に伴う地盤の伸びは昨年 12 月頃から鈍化・停滞しています。マグマだまりに蓄積された多量のマグマが上昇すれば、噴火活動が再び活発化する可能性があります。新燃岳火口から概ね 3 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続しています。

桜島では、昭和火口で爆発的噴火を含む活発な噴火活動が継続しました。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続しています。

三宅島では、やや多量の火山ガスの放出が続いています。火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）が継続しています。

口永良部島では、昨年（2011 年）12 月 11 日から火山性地震の回数が多くなり、火山活動が高まった状態となりましたが、12 月 25 日頃から回数は緩やかに減少し、1 月 5 日以降は少ない状態で経過しました。その他のデータには、特段の変化は認められません。これらのことから、火山活動は低下しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断し、20 日 11 時 00 分に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（平常）に引き下げました。

諏訪之瀬島では、12 日に爆発的噴火が 1 回発生し、噴火活動は活発に経過しました。火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）が継続しています。

その他の火山の活動状況に特段の変化はありません。

2 月 7 日現在の各火山の噴火警戒及び噴火予報等の発表状況は表 1 のとおりです。

表 1 2 月 7 日現在の噴火警戒及び噴火予報等の発表状況

| 警報・予報 | 噴火警戒レベル 及びキーワード | 該当火山 |
|--------------------|--------------------|--|
| 火口周辺警報 | レベル 3（入山規制） | 霧島山（新燃岳）、桜島 |
| | レベル 2（火口周辺規制） | 三宅島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島 |
| | 火口周辺危険 | 硫黄島 |
| 噴火警戒及び火山現象に関する海上警報 | 周辺海域警戒 | 福德岡ノ場 |
| 噴火予報 | レベル 1（平常） | 雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、浅間山、新潟焼山、焼岳、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、口永良部島、 |
| | 平常 | 知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、アトサヌプリ、雄阿寒岳、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、挾捉焼山、挾捉阿登佐岳、ベルタルペ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山 |



図1 噴火警報発表中の火山

【各火山の活動状況及び予報警報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

富士山 【噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)】

2011年3月15日22時31分に発生した静岡県東部(富士山の南部付近)の地震(マグニチュード6.4)以降、その震源から山頂直下付近にかけて地震が増加しました。その後、地震活動は低下してきています。深さ15km付近を震源とする深部低周波地震は少ない状況でした。火山性微動や浅部の低周波地震は観測されませんでした。

GPS連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島 【噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)】

GPSによる観測では、2011年10月以降伸びの傾向が認められますが、1月に入り伸びの傾向が鈍化しています。また、地下深部へのマグマ注入によると考えられる島全体の長期的な膨張傾向が継続しています。

また、体積ひずみ計の観測では、2011年11月中頃から停滞傾向がみられていましたが、1月に入り縮みの傾向がみられています。

北西外輪に設置してある遠望カメラでは、剣ガ峰付近や三原山山頂火口、三原新山北側などごく弱い噴気が時々観測されました。なお、今期間は天候不良のため現地調査は実施されませんでした。

火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。

三原山の噴気の状態及び熱活動には特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

三宅島 【火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)】

山頂火口からの噴煙高度は、火口縁上100~400mで経過しました。

5日及び13日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の平均放出量は、一日あたり1,200トン及び900トン（前月12月5日及び19日、いずれも1,100トン）で、多量の火山ガス放出が続いています。三宅村によると、山麓では時々高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

火山性地震は概ね少ない状態が続いています。震源は山頂火口直下に分布しており、これまでと比べて特に変化はありませんでした。18日、22日及び30日に振幅の小さな火山性微動が計5回（継続時間：約40秒～100秒）発生しましたが、その他の観測データに特段の変化はありませんでした。

全磁力連続観測では、火山体内部の熱の状況に大きな変化は見られませんでした。

GPS連続観測によると、2000年以降、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなりながら現在も継続しています。島の南北を挟む基線では、2006年頃から伸びの傾向がみられます。

火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、山頂火口周辺（雄山環状線内側）では噴火に対する警戒が必要です。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では火山ガスに対する警戒が必要です。

硫黄島 [火口周辺警報(火口周辺危険)]

地震活動は2011年2月末頃から比較的活発な状態が続いています。

国土地理院のGPS観測結果では、2006年8月に始まった島全体の隆起を示す地殻変動は、2011年1月末頃から隆起速度が増加していましたが、同年12月下旬頃から隆起傾向はやや鈍化しています。また、島の南部で大きな南向きの変動がみられます。

火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、これまで小規模な噴火が発生した島東部の海岸付近、島西部（井戸ヶ浜等）及び南東沖（翁浜沖）では噴火に対する警戒が必要です。

福德岡ノ場 [噴火警報(周辺海域警戒)及び火山現象に関する海上警報]

27日、28日及び30日に第三管区海上保安本部が実施した上空からの観測によると、福德岡ノ場付近の海面に火山活動によるとみられる湧出点付近から、乳白色、黄緑色、薄青色及び薄緑色の変色水が、長さ100～300mにわたって確認されました。これまでの海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁による上空からの観測でも、福德岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されており、今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に対する警戒が必要です。

霧島山(新燃岳) [火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]

新燃岳では、今期間、噴火は発生しませんでした。白色の噴煙が火口縁上概ね100m（最高高度は300m）の高さで経過しました。

17日に鹿児島県、24日に陸上自衛隊西部方面ヘリコプター隊第1飛行隊の協力を得て実施した上空からの調査では、火口内に蓄積された溶岩の大きさ（直径約600m）や形状及び周辺の噴気の状態に特段の変化はなく、主に溶岩の北側及び東側から、白色の噴煙が上がっているのを確認しました。一部には二酸化硫黄を含む青白色のガスを確認しました。17日の調査では、2008年8月の噴火時に形成された西側斜面の割れ目から白色の噴気が数m上がっていましたが、24日の調査では確認されませんでした。赤外熱映像装置による観測では、地表面温度分布に大きな変化はなく、火口内に蓄積された溶岩の縁辺が比較的高温な状態でした。また、西側斜面の割れ目の一部にやや温度の高い部分が認められました。

火山性地震の月回数は797回（2011年12月：966回）と、やや多い状態で経過しました。震源はこれまでと同様に、主に新燃岳付近の海拔下0～2kmに分布しました。火山性微動は、今期間観測されませんでした（2011年12月：継続時間1分）。

国土地理院のGPS観測結果では、新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへのマグマの供給に伴う地盤の伸びの傾向は、2011年12月初め頃からやや鈍化し、1月以降はほぼ停滞しています。GPS連続観測では、新燃岳周辺の基線では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。傾斜計では、火山活動に伴う特段の変化は認められませんでした。

10日と23日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の平均放出量は一日あたり200～500トン（2011年12月20日：200トン）と少ない状態でした。

新燃岳火口から概ね3kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。これまでの噴火では、風に流されて直径4cm程度の小さな噴石（火山れき）が新燃岳火口から10kmを超えて降りました。また、爆発的噴火に伴う大きな空振に注意が必要です。噴火警報等及び霧島山上空の風情報に

注意してください。降雨時には泥流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報に注意してください。

桜島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]

昭和火口では、活発な噴火活動が継続しました。噴火の回数は190回(2011年12月:145回)でそのうち爆発的噴火の回数は172回(2011年12月:125回)でした。爆発的噴火は、昭和火口の活動が2006年に再開以降、最も多い回数です。また、大きな噴石が3合目(昭和火口から1,300m~1,800m)まで達した爆発的噴火は、6回発生しました。噴煙の最高高度は、火口縁上2,000mでした。火砕流は、確認されませんでした。

同火口では、夜間に高感度カメラで明瞭に見える火映を時々観測しました。

南岳山頂火口では、噴火は発生しませんでした。

火山性地震は、少ない状態で経過しました。月回数は785回(2011年12月:856回)でした。震源は、南岳直下の海拔下約0~3kmに分布しました。

噴火に伴う火山性微動が発生しており、月回数は223回(2011年12月:692回)で、継続時間の月合計は31時間50分(2011年12月:57時間47分)と前月と比べて減少しました。

6、18、26日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の平均放出量は一日あたり1,800~2,800トン(12月:1,800~2,900トン)と引き続き多い状態でした。

有村観測坑道の水管傾斜計(大隅河川国道事務所設置)では、2011年11月頃から山体がわずかに隆起する傾向が続いています。これは桜島直下へのマグマの供給量の増加によるものと考えられます。

GPS連続観測では、2011年9月頃からわずかな伸びの傾向が続いています。また、国土地理院のGPS観測結果では、始良カルデラ(鹿児島湾奥部)深部の膨張による長期的な伸びの傾向がみられます。

鹿児島地方気象台での観測では、月合計4g/m²(降灰日数2日)の降灰を観測しました。

鹿児島県の降灰量観測データをもとに解析した2011年12月の降灰量は56万トンで、11月(36万トン)と比べやや増加しました。2011年の降灰量は458万トン(2010年:543万トン)で、南岳山頂火口の噴火活動が活発であった1980~1990年代と比べると半分程度の量です。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石(火山れき)に注意が必要です。降雨時には土石流に注意が必要です。

薩摩硫黄島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや高い状態で経過しました。白色の噴煙が、最高で火口縁上300mまで上がりました。

火山性地震の月回数は209回(2011年12月:167回)と少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした(2011年12月:なし)。

GPS連続観測では、火山活動に伴う特段の変化は認められませんでした。

火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では噴火に対する警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石に注意が必要です。

口永良部島 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)] ←20日に噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から1(平常)に引き下げ

口永良部島では、昨年(2011年)12月11日から火山性地震の回数が多くなり、火山活動が高まった状態となりましたが、12月25日頃から回数は緩やかに減少し、1月5日以降は少ない状態で経過しました。以上のように、火山活動は低下しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断し、20日11時00分に噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)を発表し、噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から1(平常)に引き下げました。

遠望観測では、新岳火口の噴煙活動に特段の変化はなく、白色の噴煙が火口縁上100m以下の高さで経過しました。

11日に現地調査を実施しました。赤外熱映像装置による観測では、前回(2012年12月)と比較して新岳山頂付近及び西側斜面の地表面温度分布に特段の変化はありませんでした。

12、13日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の平均放出量は一日あたり50トン及び100トンと、前回(2011年12月9日:200トン)の調査と比較して、増加は認められませんでした。

GPS連続観測では、新岳を挟む七釜-SDW(産)の基線で2010年9月頃から伸びの傾向が続いていましたが、2011年9月頃から鈍化しています。

新岳火口内では噴気活動が続いており、火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では

火山ガスに対する注意が必要です。

諏訪之瀬島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

御岳火口では、12日に爆発的噴火が1回発生しました(2011年12月：なし)。

噴煙の最高高度は火口縁上300m(2011年12月：400m)でした。

同火口では夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映を時々観測しました。

火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は、継続時間の月合計が69時間24分と、前期間(2011年12月：なし)に比べ、増加しました。

GPS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石に注意が必要です。

(火山の順は活火山総覧(第3版)による)

資料1 全国の火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ（平成24年2月7日現在）

(1) 主な活火山

| | 火山名 | 噴火警報及び噴火予報の発表状況 | 噴火警報及び噴火予報の発表履歴 |
|---------|---------------|---|--|
| 北海道地方 | アトサヌプリ | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 雌阿寒岳 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年9月29日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日 噴火予報（平常） 2008年11月17日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 大雪山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 十勝岳 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年12月16日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 樽前山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 倶多楽 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 有珠山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年6月9日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 北海道駒ヶ岳 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 恵山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| 東北地方 | 岩木山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 秋田焼山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 岩手山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 秋田駒ヶ岳 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年10月27日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 鳥海山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 栗駒山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 蔵王山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 吾妻山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 安達太良山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） |
| 磐梯山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） | |
| 関東・中部地方 | 那須岳 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 日光白根山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 草津白根山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常）切替 |
| | 浅間山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 新潟焼山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 焼岳 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 乗鞍岳 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 御嶽山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 白山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 富士山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| 箱根山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） | |
| 伊豆東部火山群 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） | |

| | 火山名 | 噴火警報及び噴火予報の発表状況 | 噴火警報及び噴火予報の発表履歴 |
|-----------|--------------|-------------------------|---|
| 伊豆・小笠原諸島 | 伊豆大島 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 新島 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 神津島 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 三宅島 | 火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制） | 2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） |
| | 八丈島 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 青ヶ島 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 硫黄島 | 火口周辺警報（火口周辺危険） | 2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険） |
| | 福徳岡ノ場 | 噴火警報（周辺海域警戒） | 2007年12月1日 噴火警報（周辺海域警戒） |
| 九州地方・南西諸島 | 鶴見岳・伽藍岳 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 九重山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 阿蘇山 | 噴火予報 （レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 雲仙岳 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 霧島山 （新燃岳） | 火口周辺警報 （レベル3、入山規制） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 |
| | 霧島山（御鉢） | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 桜島 | 火口周辺警報 （レベル3、入山規制） | 2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） |
| | 薩摩硫黄島 | 火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制） | 2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） |
| | 口永良部島 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 諏訪之瀬島 | 火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制） | 2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） |

注）噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成19年12月1日の噴火警報及び噴火予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。
この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

(2) その他の活火山

以下の活火山では平成 19 年(2007 年)12 月 1 日に噴火予報(平常)を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

| | 火 山 名 |
|-------------------|--|
| 北海道地方 | 知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山 |
| 東北地方 | 恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳 |
| 関東・中部地方 | 高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山 |
| 伊豆・小笠原諸島 | 利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山 |
| 中国・九州地方 及び南西諸島 | 三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山 |

* 天頂山と雄阿寒岳は、平成 23 年 6 月 7 日に活火山として選定され、噴火予報(平常)を発表した。